

社団法人私立大学情報教育協会  
平成 21 年度 第 4 回サイバー・キャンパス・コンソーシアム  
土木工学グループ運営委員会 議事録

I. 日時 : 平成 22 年 12 月 17 日(木) 11:00~13:00

II. 場所 : 私立大学情報教育協会事務局会議室

III. 出席者: 塩見委員、北詰委員、片田委員  
井端事務局長、森下、恩田

【検討事項】

1. 記録担当を決定
2. 学士力の達成に向けた分野別情報教育について

資料に基づき、事務局から、以下の説明があった。

- ・本協会による分野別教育「学士力考察」の報告・提言について
- ・分野別情報教育の検討について

土木工学の除法教育としての「情報活用能力」を議論したい。

とりあえず年度内に、到達目標、到達度、教育内容、教育方法、到達度確認の測定手段のうち、まとめられるところまで議論を進めたい。教育内容・教育方法まで議論できれば、来年度たちあげる「情報教育研究委員会」に引き渡すことができる。

これらの説明を受け、情報活用能力のうち、到達目標と到達度について、特に議論した。その際、以下の議論があった。

- ・土木工学科を卒業した学生であれば持つであろうと社会人が思う能力を意識する。
- ・分野共通の能力と分野固有の能力に区別して考える。
- ・学士力における到達目標のそれぞれに対し情報活用力を対応させることは難しく、「基礎と応用」という形でまとめるのがよいのではないか。
- ・既存の科目、シラバスから、情報に関わる部分を取り出し、議論できる。例えば、空間情報を扱う能力などが必要なのではないか。
- ・到達目標を 2～3 項目設定し、それぞれに到達度を設定する。

その結果、別紙に示す「到達目標」、「到達度」がまとめられた。

3. 今後の検討スケジュールについて

- ・来年度立ち上げる予定の「情報教育研究委員会」について説明があった。

4. その他

- ・ 次回の委員会開催日 1 月 19 日(火) 16 時 00 分から 18 時 00 分  
場所 私立大学情報教育協会事務局会議室
- ・ 宿題 『学士力を実現するために、学生に身につけて欲しい  
IT 活用能力と技術力とそのための教育方法』

以上

### 到達目標1

土木工学の問題発見、解決のための基礎的な情報処理能力を身に付けている。

#### 到達度1

土木に関連する情報の所在、構成、背景を知っている。

#### 到達度2

情報検索、プログラム言語と一般的なソフトウェア(表計算、作図、プレゼンテーション)などを取り扱える。

### 到達目標2

情報通信技術を活用して、土木工学の問題を分析するために必要な情報のシステム化、情報の統合化の仕組みを理解できる。

#### 到達度1

問題の分析に必要なシミュレーションソフトの利用ができる。

#### 到達度2

ソフトを活用した分析結果を批判的に見ることができる。

#### 到達度3

収集した情報を組み合わせ相互に関連付けることができる。

### 到達目標3

情報通信技術を活用した「解」の信頼性、合理性、妥当性を検討できる。

#### 到達度1

土木工学技術者に求められる倫理的な判断基準を持つことができる。

#### 到達度2

「解」の信頼性、合理性、妥当性の検討を多様な手法で取り組むことができる。

### 教育内容・教育方法

基本的なソフトが使える

到達度確認の測定手段